

遺伝的体質から肌老化のリスクを予測 サインポスト「肌老化予防プログラム」



保湿



アトピー性
皮膚炎



皮脂



くすみ



しみ



体内老化



しわ



たるみ



毛穴



肥満



喫煙



更年期
障害

※男性は更年期障害の代わりにEDの項目が設けられています

<「肌老化予防プログラム」とは？>

- ◆保有遺伝子を解析し肌老化の遺伝的リスクを判定する検査
- 約70種類の遺伝子の保有状況を測定
(日本人10,000症例以上のデータと比較)
- 12項目の肌老化の遺伝的リスクを判定
- 保有遺伝子に基づくアドバイス付報告書

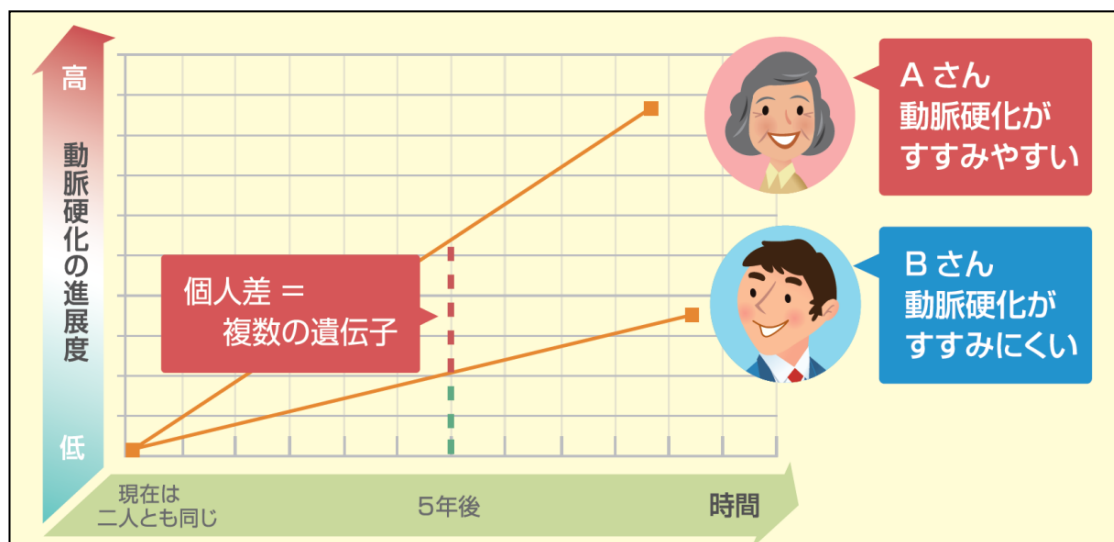
個々人の遺伝的リスクに基づく
ライフスタイル・生活習慣を提案

効果的な肌老化予防
「オーダーメイド美容」の実現へ

<サインポスト遺伝子検査のメリット>

疾患は遺伝要因と環境要因の双方の影響によって発症の有無やその程度が決まると言われています。例えば、メタボリックシンドロームを指摘されたAさんとBさんが、同じ食事や運動を行っていたとしても、遺伝子のわずかな違いによって、将来の動脈硬化の進みややすさには大きな違いが出ます。

サインポスト遺伝子検査は、このような「遺伝的な要因」を調べることで、「どんな病気にかかりやすい体質か」、「どのようなライフスタイル、食生活が適しているのか」を知ることが出来る遺伝子検査です。



サインポスト遺伝子検査で『遺伝要因』を認識し、
『環境要因』を意識したケアを行うことでアンチエイジングにつながります。

報告書形式にて12分野の遺伝的リスクの解析結果、
ならびに疾病予防のための個々人の遺伝的リスクに基づ
いたライフスタイル・生活習慣を提案致します。

  女性用報告

男性用報告書

保 湿

レベル3（日本人平均）

日本花子 様の保湿に関する遺伝的リスク度は 🍷 合計数＝3 個です。
 肌の保湿に対する遺伝的影響度は日本人平均（中程度）です。

◆ 保湿関連遺伝子の判定結果

判定結果	判定遺伝子	遺伝子の主な働き	日本人の日本人平均
🍷	EPHX2	血中の酸素を保持し酸素が血管から分離され、血行が悪くなりやすく、保湿機能が失われやすい。	🍷
🍷	NO3(3)	酸化ストレスを受けやすく、皮膚のバリア機能が低下しやすいお肌が乾燥しやすい。	🍷
🍷	ESR1	女性ホルモンに対する反応が弱く、血流が悪くなりやすく、肌の潤いが失われやすい。	🍷
🍷	FLD(1)	フィラグリン分解産物の天然保湿成分が減少しやすい、保湿機能が失われやすい。	🍷
🍷	FLD(3)	フィラグリン分解産物の天然保湿成分が減少しやすい、保湿機能が失われやすい。	🍷
🍷	SLC6A4	ストレスの影響を受けやすく、肌の潤いが失われやすい。	🍷

◆ 遺伝子からおすすめの生活習慣

栄養
成分

セラミド

細胞性エストロゲン

クルセチン

ビタミンE

ライフ
スタイル

有酸素運動

上質な睡眠

入浴

感情に注意

ストレスに注意

保湿に関するアドバイス

お肌のうるおいの素

肌の大部分は水分と脂質、表皮、皮下組織から構成されています。お肌のうるおいのもとと真夏の「水分」は表皮角質層の水分保水力、角質細胞間脂質を泳ぎまわります。セラミドにあります。

真夏ののち-80%が水分で、この水分量が少なくなると、お肌のうるおいが得にくくなります。この水分は表皮の中にある細胞間脂質が機能するセラミド、ヒアルロン酸、エラスチンからなる細胞間構造で保たれています。細胞間脂質の働きは血管で運ばれた酸素や栄養素により維持されています。

真夏の水分が少なくなったり、表皮の天然保湿成分が充分量でなければ、少なくなってくると乾燥肌に移行してきます。

エストロゲンの反応が悪く肌のうるおいが失われやすい

ESR 1

あなたはエストロゲンの反応が低い「ESR1遺伝子」を保有しています。

エストロゲンは、血管を拡張して肌の血流量を促進し、肌の血流量を良くしますが、あなたはその肌の血液循環が妨げられ、お肌のうるおいが失われやすい体質です。エストロゲンと似た働きをする納豆やイソフラボンなどの「植物性エストロゲン」を含む食品の摂取がおすすです。

保湿成分の産生が悪く乾燥肌になりやすい

FLG (1)

あなたはフィラグリンの産生が悪く「FLG1遺伝子」を保有しています。肌の「天然保湿成分」の源であるフィラグリンの産生が悪くなると、乾燥肌になりやすい。バリア機能の弱くなります。また、アレルギー体質にもなりやすいです。

角質層とお肌を物理的に守ったり、皮膚の潤いを保持したる大切な役割ですが、角質細胞間で水分保持に重要な「セラミド」などを含んだ食品（こんにゃくや大豆）を摂りましょう。

コラーゲン

しっとり肌の素となる天然保湿因子

天然保湿成分とは皮膚に元来備わっている保湿成分の総称

その主成分は、アミノ酸類、ロッドンコリン酸、脂肪酸、尿素、ミラール塩類、などの低分子です。その大部分は、角質細胞にあるフィラグリンの分解により産生されます。従って、角質細胞よりフィラグリンの生成が低下すると、角質細胞の天然保湿成分が減少し、肌の保湿機能が弱まり、乾燥肌となります。

天然保湿因子
「セラミド」

フィラグリン

- 7 -

日本 花子様の【推奨される栄養成分一覧】	
カテキン 血行を良くし、動脈硬化の進展を抑える働きがあります。 12.25	 緑茶 紅茶 コーヒー 湯飲み
カプサイシン アミノ酸・タンパク質を分解し、脂肪分解を促進させる働きがあります。 12.25	 唐辛子
グルタチオン 活性酸素のダメージから身体を守る抗酸化作用だけでなく、解毒作用もあります。 12.25 12.25	 アボカド きゅうり タラ キシリナー
グルセチン 血流をサラサラにする働きがあります。 12.25	 カボチャ トマト 魚油
コエンザイムQ10 細胞呼吸に必要な栄養成分であり、活性酸素のダメージから細胞を守る働きがあります。 12.25	 ブルーベリー サケ 豚肉 牛肉
セラミド 乾燥を防ぎ、肌のバリア機能を高め、肌の水分を保持する働きがあります。 12.25	 パン 肉 魚
ナットウキナーゼ 血流を妨げる物質（フィブリン）を溶かす働きがあります。 12.25	 納豆
ビタミンB1 脂肪を燃焼させ、肥満防止に必要な栄養成分です。脳の活動にも必要です。 12.25	 緑ピーマン コウネ 豚肉 パン
ビタミンC 活性酸素を分解し、抗酸化作用があり、コラーゲンを作るために必要な栄養成分です。 12.25 12.25 12.25	 ピーマン キューピー バナナ ブロッコリー
必要な栄養成分を摂る食品の例	

遺伝子の測定結果を日本人10,000
症例以上のデータと比較し、
各項目を3～5段階で評価致します。

リスクの高い項目に関しては、体質的な負荷を補うための生活習慣・栄養管理のアドバイスを提案します。

推奨されるライフスタイルや遺伝的
リスクを補うために必要とされる栄
養素、運動習慣を提案致します。

検査項目名	サインポスト遺伝子検査「肌老化予防プログラム」
検体量	全血2ml
容器	EDTA-2Na (専用バーコード添付のものを使用して下さい)
保存(安定性)	冷蔵
報告期間	30日
測定・解析機関	サインポスト株式会社
検査方法	Infinium Assay
備考	申し込み時に遺伝子検査の同意書が必須となります。 「生活習慣病予防プログラム」「がん遺伝子検査」「ウイルス感染症リスク判定」など他のコースの同時受診も可能です。

1. 山崎義光, 片上直人:オーダーメイド医療. 日本臨床 第64巻・第11号:2148-52, 2006
2. Yamasaki Y et al., Combination of Multiple Genetic Risk Factors Is Synergistically Associated With Carotid Atherosclerosis in Japanese Subjects With Type 2 Diabetes. Diabetes Care 2006;29: 2445-2451.
3. Hayaishi-Okano R, et al., Association of NAD(P)H Oxidase p22 phox Gene Variation With Advanced Carotid Atherosclerosis in Japanese Type 2 Diabetes. Diabetes Care 2003; 26: 458-63